

party in the picaro

資格がなければ奪われる

◆導入

街中でこのような噂が流れている。

「近々、街の豪邸で優秀な悪党を集めたパーティーが開かれるんだとさ」

「なんでも開催者は元貴族で、自分を追い出した一族に復讐するために協力者を探しているらしい」

「それでパーティーを開いて悪党どもを競わせて、一番優秀な奴を相棒として雇うらしい。勿論、報酬は弾むそうさだ」

この噂を聞きつけた優秀なピカロの君達はパーティーの参加方法を各々の方法で探し出し、参加することになった。

パーティーは社交界を思わせるようなものだった。

一人の男性が壇上にゆっくりと登り、スピーチを始めた。

「ようこそ。優秀な悪党の皆さん。ここに集まって来たということは何が開催されるかはわかっていると思う。」

「この会場に散らばっている金品を一番多く獲得した悪党と組むことにしたよ。安心したまえ、金は腐るほどあるから、それらを奪われたぐらいで破産することはないから」

「このBGMが鳴りやんだら終了の合図だ。それでは皆さん、頑張ってくれたまえ」

そうして悪党たちのパーティーは開催を告げられた。

◆「VIPの設定」

VIP：堕ちた貴族

貴族家庭の息子ではあったが、散財や女遊びが過ぎて追い出された。

本名はセドワード・ハルトミン。

自分を追い出した一族を憎み、優秀な悪党を集めてクーデターを企てようとしている。

そのため、豪邸を貸し切ってパーティーを開催し、君達含め大量の悪党を呼び出した。

◆「獲得目標値」

「VIPの残り利権数」：10(智力)

「利権獲得の際の目標値」：11(智力)

「ジョーカーの表裏効果」：12(智力)

「ジョーカー獲得の際の目標値」：12(色香 or 天運)

◆「ジョーカー」

真紅のシグネットリング

フレーバー

荘厳な空気を纏う指輪。ハルトミン家の富と権力を示しているようだ。
身につけると自分が強大な力を得たように思える。

VIP 情報カード

◆ジョーカー表裏効果

表：
①街イベントに関する判定にプラス3点の修正を得る。
②利権獲得判定にプラス2点の修正を得る。

裏：
ゲームⅡ開始時に誰とも同盟を結んでいない場合、利権を5点失う。
結んでいる場合、ジョーカー所持者は利権3点を獲得し、同盟相手は全員が利権1点を獲得する。

◆「VIPの利権」

VIPの利権数：PL数*3
シナリオ時間目安：3～5時間
利権獲得の際の目標値：暴力<2+2d> 智力<5+2d> 色香<6+2d>
※天運は無い

◆「選択ルール NPC」

居ない

◆「エンディング」

BGMが鳴りやんで一人の男が壇上に立った。
その男はあの貴族ではなく、会場で君達が目にした老紳士であった。
「パーティーはこれにて終了です。彼には舞台から退場していただきました。」
「奪った金品はあなた方に差し上げますが、最初に彼が説明していた協力者については必要ありません。その企み自体がなくなってしまいましたので。」
「力を持つ者には資格が必要です。彼にはそれがなかつただけのこと」
「それではこれにて失礼します」

そういつて会場が一瞬暗闇に包まれた。
すぐにまた照らされたが、老紳士の姿はそこにはなかつた。
パーティーが終わりを告げ、ここにはもう何も無い。
君達は奪った金品を抱えて帰っていく。

※ジョーカー所持者への演出
あの老紳士が君の前に現れた。
「こんばんわ。今日はいいい夜ですね。」
「貴方が持っているその指輪は我が一族の象徴たるものです。返してもらいに来ましたよ。」

①裏効果により利権を獲得していた場合
「と思いましたが、貴方には指輪を所持するだけの資格があるようだ。」
「一つくらいなら問題ないでしょう。いずれ貴方の力を借りることがあるかもしれませんね。」
「貴方が資格を有している限り、預けておくことにしましょう」
「それでは、その日が来るまで大事にしてくださいね」
そういつと貴方の視界は暗転し、気が付いたらアジトにいた。

あれはいったい、なんだったんだろうか……。

②裏効果により利権を失った場合

「貴方には所持するための資格がなかった。」

「資格なきものは奪われるだけ。悪党の貴方にはそれがわかっているでしょう」

そうとうと貴方の視界は暗転し、気が付いたらアジトにいた。

指輪も利権もなくなっているが命があるだけ安いものだろう

◆「ギミック」

第4サイクル開始時にマスターシーンを挟む。

「どうやらデカイ勢力が動き出したようだ。」

「準備が整ったのかシビレを切らしたのか……こりゃ、俺たちも急いだほうがいいな」

「あぁ、早いことカタをつけないと荒れそうだ」

街のターン開始時に毎回「第三勢力」を発生させる。

この時、失われる利権は1D3とする。